

## 公益財団法人吉野川紀の川源流物語 事業計画書

本財団は、次年度には設立 24 年目を迎えます。

令和 4 年度の設立 20 周年を経て、令和 5 年度から 3 年間にわたる活動のテーマを「価値を高める」と掲げ、取り組みを推進してまいりました。

この間、教育を通じて地域や人々をつなぐ拠点となるようリニューアルした、森と水の源流館をさらに活用し、教育支援における ESD の取り組みの中で『川上宣言』をはじめ、川上村と源流地域及び吉野川紀の川流域の価値の教材化をすすめてきました。

これらの取り組みは、「地域の自然や人をいかし、流域をつなぐ ESD の推進」として、令和 5 年度には「ふるさとづくり大賞（総務大臣表彰）」の評価をいただき、さらにその役割の大切さを自覚しているところです。

3 カ年のテーマでの最終年度にあたる令和 7 年度は、「価値を高める。」取り組みを通じて得た成果や課題を把握しつつ、村内や流域のみなさまと「価値を共有」するという視点で、自然環境や民俗・文化などの分野に係る調査・保全・啓発事業等を通して、村内のみにとどまらず、吉野川紀の川流域の人々や地域とを持続的な未来につなげていくよう、ひきつづき川上村が目指す村づくりの方向と連動しながら、以下の事業を展開してまいります。

### 取り組みテーマ

## 「価値を共有する。」

### 公益事業Ⅰ 環境学習・体験プログラムの提供にかかわる事業

1. 「吉野川源流－水源地の森」体験プログラムの提供
  - ・ 定例水源地の森環境学習ツアー（1回）
  - ・ 水源地の森環境学習ツアー（団体毎の受入れ：随時）
2. 森づくり体験プログラムの提供
  - ・ 源流学の森等での保全活動（3回）
  - ・ 山の神 神事（3回）
3. 体験学習を通じた環境教育の実施及び支援
  - ・ 団体毎の川上村体験学習（随時）
  - ・ 学校教育団体支援（随時）
  - ・ 森と水の源流館ESD授業づくりセミナー（近畿ESDコンソーシアム）
4. 水源地域の環境保全にかかわる人材の育成
  - ・ 源流人会の運営
  - ・ 主に源流人会会員向け調査報告会の開催（1回）
  - ・ 川上村民の環境クラブ活動への支援（適宜）

## **公益事業Ⅱ 流域交流・啓発にかかわる事業**

1. 水源地域の自然及び文化を介した交流行事の実施
  - ・源流のつどい、他流域関係団体との交流（草刈り、外来種駆除、自然観察）（5回程度）
2. 水源地の環境保全の普及啓発のための行事等の開催、印刷物等の刊行、電子情報媒体の作成
  - ・流域連携・交流、啓発・P R（ESDの視点を強調 随時）
  - ・機関誌『ぼたり』刊行（3回）
  - ・ホームページ、SNSの維持管理
  - ・森守募金活動

## **公益事業Ⅲ 源流域の自然や歴史の調査・研究にかかわる事業**

1. 水源地域及び流域における参加型観察調査会の実施
  - ・吉野川紀の川しらべ隊（3回）
  - ・村民や大学、教育委員会等と連携した自然調査・人文調査（各季）
2. 「吉野川源流－水源地の森」自然実態調査の実施
  - ・水源地の森保全対策調査（通年）
  - ・水源地の森下層植生調査（4地点）
  - ・（仮称）水源地の森保全対策検討委員会開催
3. 源流部における斜面崩壊地での対策実態調査
  - ・ミズナラの集団枯死に伴う環境変化等の観察
  - ・水源地の森における防鹿柵調査

## **公益事業Ⅳ 拠点公共施設の管理・運営にかかわる業務**

1. 展示を通じて情報発信を行う施設の管理
  - ・森と水の源流館管理（通年）
  - ・常設展示、企画展示、期間展示、季節展示等の運営
  - ・リーフレット等の印刷
2. 源流部での体験活動の拠点となる森とこれに附帯する施設の管理
  - ・水源地の森（通年）
  - ・水源地の森交流施設管理（通年）

## **収益事業Ⅰ ミュージアムショップ事業**

- ・ミュージアムショップ事業（通年）

## **収益事業Ⅱ 受託事業**

- ・和歌山市民の森づくり（和歌山市）
- ・水のつながりプロジェクト業務（川上村）
- ・水源地の村づくり関連事業連携推進業務（川上村）
- ・混交林誘導整備事業管理事業（川上村）
- ・川上村公共塾ふるさと力編業務（川上村）

（いずれも仮・予定）